

NVNAD新事業のご紹介

1

NVNAD「まちごと防災」webセミナー

昨今、災害が常態化しつつあり、更に今までの常識では考えられない規模で発生しています。今後、どのようにして災害に対応していくかが課題です。阪神・淡路大震災から26年、皆様にご支援をいただきながら災害に対する活動を続けてきた当団体が、これまで培ってきたものを皆様と共有する機会を作りたいという思いで、NVNAD「まちごと防災」webセミナーを企画しました。

7月30日(金)に第1回セミナーを行い、当日は多くの方にご参加いただきました。 * 次頁 Vision117でもご紹介しております



第1回：理事長（渥美）によるセミナー



2

クラウドファンディング「防災アニメ」

* 同封のチラシをご覧ください

現在、当団体初の取り組みとして、クラウドファンディング(以下CF)に挑戦しています。今回CFに取り組んだ経緯をご説明すると、昨今の多様化する災害に対して支援の網から外れてしまう方々(ご年配の方や障がいをお持ちの方や乳幼児、日本語が苦手な外国の方等)が多くおられることが懸念でした。当団体は「誰もが助かる社会」を目指しています。



そこで取り組みのひとつとして、乳幼児の災害被害を少なくしたいと考え、乳幼児にも理解できる「防災アニメ」の制作を企画しました。災害が起こった際、乳幼児は自らの意思で十分に行動することができません。防災教育を行うにも教材自体が少なく、乳幼児が理解できるように教えることは大変困難です。そこで防災の知識をアニメ化することによって乳幼児でも自然と体得し、更に一緒にアニメを見た保護者の方にも災害に対する知識を持っていただければと考えました。

皆様にお願ひです。我々の「防災アニメ」を応援していただけませんか。是非とも目標金額の150万円に到達し、第一弾となる「防災アニメ-乳幼児編-」(3話作成予定)を完成させたいと思います。

8月23日(月)からCFの寄付を開始します。皆様のお力添えを何卒、何卒よろしくお願い申し上げます。

- c o n t e n t s -

- P 1 . . . NVNAD新事業のご紹介 ①「まちごと防災webセミナー」②「防災アニメ」
- P 2 . . . Vision117/つなGirlからの温かい支援/グローバルビレッジ防災訓練
- P 3 . . . 東日本大震災から10年/子ども防災クラブ/丹波篠山プロジェクト
- P 4~6 . . . NVNAD通常総会報告
- P 6 . . . ココロープ1周年/KSN交流会
- P 7 . . . Nうごき・Nごよみ
- P 8 . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま/カレンダー市につきまして/編集後記

Vision 117

新型コロナウイルス感染症への対応が長引き、なかなか身動きできない毎が続いております。あと少しで終わりが見えると何度も思うのですが、なかなかスッキリしません。

コロナ禍で学んだことの1つにリモート会議の活用があります。NVNADでも、Zoomなどのリモート会議システムを使って、これまで培って参りました経験や知識を皆様と共有しようとする場として「NVNADセミナー」を始めました。オンラインですから、移動せずに遠くの方々にも、またスマホなどの簡単な接続でもお手軽にご参加頂けます。

NVNADでは、昨年の3月から、コロナ禍に対する市民の活動について、中国を中心とする諸外国の方々と一緒に考えるオンライン会議を続けてきました。また、今年の1月17日にはこれまでお世話になって参りました全国各地の被災地の皆様とオンラインで交流会を開催することができました。そして、今年7月から、「まちごと防災」をテーマとした連続セミナー「NVNADセミナー」を月1回のペースで開催していくことになりました。毎回、各

理事が担当となって関心分野の専門の方々をお招きしたり、自身が講演したりして、様々なテーマを掘り下げていきたいと思っております。一方これまでなかなか採り上げられなかった問題として、例えば気候変動などについて関心を広げていきたいとも計画しています。連続セミナーですが、ご都合のよいとき1回だけのご参加も大歓迎です。

これからは、オンラインという場も加えて、皆様と一緒に、災害ボランティアを含む災害救援、復興支援、地域防災について一緒に考え、実践を継続していきたいと思っております。どうぞ引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(理事長 渥美 公秀)



「つなGirl」からの温かい支援



7月15日(木)、園田学園女子大学のボランティアグループ「つなgirl」に所属しているスタッフと1年生の皆さんが、大学などで集めた募金をもって、「被災地支援の活動に使ってください」とわざわざ事務所までお越しくださいました。今後発生する災害支援活動に大切に活用させていただきます。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

園田学園女子大学

グローバルビレッジ防災訓練



5月16日(日)、阪急山田駅の近くにある大阪大学グローバルビレッジ(新しいハウジング施設)にて、ビレッジ内にある寮のレジデント・チューター(阪大生)が中心となり防災訓練が開催され、NVNADは防災クイズを担当させていただきました。

プログラム内容は、地震が発生した想定で寮生がまず中庭に一旦集まり、グループに分かれて一時避難場所である津雲公園へ移動。避難途中グループごとに防災クイズ問題にチャレンジしながらグローバルビレッジ内の集会室に集合し、災害時の注意事項をレジデント・チューターから聞きます。その後、防災クイズの正解発表と解説をNVNADが行うという内容です。寮には海外からの留学生も多く、日本語だけでなく英語でも伝えていただきました。

大阪府北部地震で問題となった外国人の支援のあり方について、スタッフ内で確認をすることができ、とても有意義でした。中心的に企画をされたチューターの皆さん、とても良い経験をさせていただきありがとうございました。



東日本大震災 ～若者と考える過去・現在、そして未来～

7月31日（土）に社会福祉法人光朔会オリンピアにおいて「東日本大震災から10年を振り返り、これからの10年を考える」と題した行事が行われました。

オリンピアでは10年前、東日本大震災で被災した高校生を招き、兵庫の高校生との交流会が開催されましたが、震災から10年の節目に、この10年を振り返るとともにこれからを考える交流会が実施されました。

福島県双葉郡のインフォメーションセンター「ふたばいんふお」の代表を務める平山勉さんから東日本大震災の被災体験や復興の歩みに関するお話をうかがったあと、NVNADスタッフがこの10年間の取り組みや、災害ボランティア活動において重きを置いている点などについて講演させていただきました。

そのあとのワークショップでは、兵庫県立大学特任教授・諏訪清二先生のコーディネートのもと兵庫県の4校の高校生が対面で、また東北の高校生はオンライン参加というかたちで、高校生ができる復興支援について活発な議論が行われました。



これからを担う世代への伝承、そしてボランティア育成の必要性がいわれる中、参加した高校生の皆さんが熱心に話し合う様子は大変頼もしく感じられました。

また我々にとっても、災害ボランティアの在り方や次世代の育成について改めて考える機会となり、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

子ども防災クラブ

手作りホイッスル



7月3日(土)、高木市民館にて子ども防災クラブの活動を行いました。自己紹介をしたあと二つのグループに分かれ、牛乳パックを使ったホイッスル作りに挑戦しました。災害時どこかに閉じ込められたとき、自分の居場所を知らせるのに有効な手段となります。身近にある廃材で簡単に作れることに子どもたちは驚いていました。次に紙コップとタコ糸を使って糸電話を作成し、リングでつながって聞こえるかということも試しました。最後は3チームに分かれ、サイコロビンゴ大会を行いました。床に書かれたマス目を狙って得点数を競い、ビンゴを狙うゲームに皆が大盛り上がりでした。今年度は新しい学生リーダーさんが4名増え、新たな活気も加わりました。ご協力くださったリーダーさん、どうもありがとうございました。



私の声、聞こえますか～!?

丹波篠山プロジェクト



6月と7月、丹波篠山に向かい、名産の黒豆栽培のお手伝いをしてきました。丹波篠山の近くでは2014年に水害が発生し、大きな被害に遭いました。今後も防災に対する環境が大切ですが、次世代の担い手が不足しています。

大阪大学の卒業生に「神戸大学の取り組み」をご紹介いただいたことがきっかけとなり、名産の黒豆栽培を活性化させることによって地域のさらなる発展、および災害に対する自力を備えることを目標に活動を始めました。

当日は雲一つない快晴で空気も澄んでおり、とても爽やかな気持ちで活動が出来ました。更に現地では畑作業のお手伝い出来る制度も用意されています。皆様も農業体験はいかがでしょう？今後収穫された黒豆と他の被災地の名産品とのコラボ品も考えています。これからの活動も是非ご期待ください。

第23回NVNAD通常総会報告

第23回NVNAD通常総会は、2021年6月12日（土）西宮市において開催。提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

I. 第22期（2020年度）事業報告（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

第22期（2020年度）を振り返ってみると、災害救援に関しては、7月に発生した令和2年豪雨災害に対して、コロナ禍で即現地入りすることは難しく、まずは必要な救援物資を被災地に送付したり、西宮市立中央病院の医師と看護師から感染症対策に関するレクチャーを受けた。政府のGO TOトラベルキャンペーンがスタートした9月と10月には、スタッフが熊本県（人吉市と球磨村）に入り支援活動に関わった。また、被災地熊本から水没写真を預かることができたので、津市ボランティア協議会をはじめ、津市社会福祉協議会、西宮市社会福祉協議会、大阪大学などと共同で写真洗浄会を初めて開催した。その他、これまで支援や交流活動を行ってきた被災地にはなかなか訪問することができず、悩ましい日々が続いた。そのような中でも、1月17日には西宮の追悼式会場からYouTubeでの生配信や、岩手県野田村や福島県郡山市、あるいは新潟県塩谷や刈羽村など、これまでつながりの深かったメンバーとオンライン交流会を開催することができた。

平常時の活動に関しては、活動の3本柱である①『防災まちづくり活動』として、子ども防災クラブの活動を、回数を減らして実施した。②『講演・講座活動』は、緊急事態宣言発令などの影響から件数は激減したが、岬町社会福祉協議会や近畿ろうきんからの継続した講演依頼はあった。その他、自主事業である「まちごと防災セミナー」については、オンラインでの実施を試みた。③『ネットワーク活動』としては、コロナの影響により残念ながらチャリティカレンダー市を中止することとなった。また、ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）や、兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議などについても、中止もしくはオンラインによる参加となった。その他、大阪大学（人間科学研究科）とのOOS協定や、「災害ボランティアラボ」との連携事業については、阪大学生グループ「すいすい吹田」のオンライン会議への参加や、オンラインによる「防災ピクニック」の企画運営などに関わった。

尚、西宮商工会議所の老朽化による建て替え工事に伴い、3月1日に事務所を移転することとなった。

- （活動事業実績）
1. 災害に関する講演、講座事業 19回
 2. 防災まちづくり事業（ワークショップ事業） 13回
 3. ネットワーク事業 3回
 4. 災害救援活動事業 11回
 5. その他の活動 11回

II. 第22期（2020年度）決算並びに第21期予算

別表参照

III. 第23期（2021年度）事業計画（2021. 4. 1～2022. 3. 31）

災害支援関連では、コロナ禍の状況次第ではあるが、東日本大震災をはじめ、西日本豪雨災害や令和2年7月豪雨などの被災地支援・交流について、継続の可能性を探っていきたいと考えている。東日本大震災関連では、2021年3月11日に震災から10年を迎えたが、11年目も岩手県野田村や福島県郡山市での取り組みや、地元西宮の県外避難者を対象に実施しているKSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）による交流行事も継続予定である。西日本豪雨災害では岡山県倉敷市真備町での仮設支援や、令和2年7月豪雨災害の被災地、熊本県人吉市と球磨村の写真洗浄活動などについても、現地訪問を含めできる限り取り組んでいければと考えている。また、南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「笑顔プラス」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていく。そして、新型コロナウイルス感染症まん延時の被災地支援を想定した感染症ガイドラインの作成を行うと共に、大阪大学など他団体とも連携しながら被災地支援について模索していきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を中心に展開していく。特に、今年度はNVNAD役員&事務局が中心となって、自治会やコミュニティ協会などを対象に、まちごと防災セミナーやNVNADセミナーなど「セミナー検討会」をはじめ、「財源対策検討会」や「コロナ禍での災害支援ガイドライン検討会」、あるいは「被災地特産品販売検討会」などのテーマで新規プロジェクトを立ち上げ、財源確保を含め事業を検討していきたいと考えている。

その他、チャリティカレンダー市の代替策について検討したり、大阪大学の人間科学部OOS協定団体や未来共創センターの「災害ボランティアラボ」とも連携して、防災ピクニックや農業体験などの企画にも参画していければと考えている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（K S Nプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震・九州北部豪雨災害の支援活動

(4) 西日本豪雨災害の支援活動

(5) 台風19号豪雨・令和2年7月豪雨災害の支援活動

(6) ココロープの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

(1) 子ども防災クラブ（次世代のリーダー育成）

(2) 親子防災事業（地域での防災啓発）

2. 防災意識高揚のための取り組み

(1) まちごと防災プログラム事業

(2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

(1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会 6月普賢岳30周年？

(2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）

(3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）

(4) 宮っ子ウォーキング（西宮市コミュニティ協会と共催）

(5) チャリティカレンダー市（要検討）

4. 新規事業の企画・・・収益（事業、会費、寄付など）を高めるために

(1) 防災・減災教室（対象：自治会、地域コミュニティ協会）

(2) NVNADセミナー（実践、研究、制度の研修、交流会など）別紙参照

(3) 農作業体験会（例：西宮⇔丹波、吹田⇔丹波、西宮⇔吹田）

(4) 被災地物産の紹介販売（例：のだ塩アイスの販売）※クラウドファンディング

(5) 災害ボランティアラボとの連携（ウォーキング&レクリエーション） など

III. その他

今年度末の災害救援準備金残高 1,000千円

（災害救援準備金の取り扱い細則）

国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。（近畿ろうきん50万円を含む）

IV. 定款変更について（案）

現在の定款では、理事会の議長は必ず理事長が務める必要があるため、副理事長もしくは他の理事でも議長を務められるように変更したい。

第5章 理事会

現行	変更（案）
<p>（議長） 第35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。</p>	<p>（議長） 第35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。理事長が出席できない場合は、その理事会に出席している理事の中から選出する。</p>

(別表) 活動計算書 (第22期決算及び第23期予算)

「一般会計・特別会計(災害救援)」

(単位:円)

科目	第22期予算	第22期決算	第23期予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	790,000	781,000	793,000
2. 受取寄付金	1,620,000	2,541,205	1,720,000
3. 受取助成金等	800,000	2,717,996	1,100,000
4. 事業収益	2,930,000	526,850	2,465,000
5. その他収益	100	2,536	300
経常収益計	6,140,100	6,569,587	6,078,300
II. 経常費用			
1. 事業費	14,790,694	10,433,511	14,226,376
2. 管理費	1,630,206	581,770	562,452
経常費用計	16,420,900	11,015,281	14,788,828
税引前当期正味財産増減額	-10,280,800	-4,445,694	-8,710,528
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-10,362,800	-4,527,694	-8,792,528
前期繰越正味財産額	28,715,852	28,715,852	24,188,158
次期繰越正味財産合計	18,353,052	24,188,158	15,395,630

お陰さまで…

NVNAD
女性スタッフによる支援チーム

ココロープは7月18日で1周年を迎えました。この一年間、ココロープにご協力いただき支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

そして新たに【想いを繋ぐ・ハンドメイド】をテーマにした「Kifu - Rope」(キフロープ)という事業を開始いたしました。

昨年『手作りマスクプロジェクト』を実施した際、「マスクだけではなく、他の手作りのものでも良ければ…」というお声をいただきました。実際に、全国からお寄せいただいた想いのこもった手作りマスクと共に手作りのバッグや小物入れなど、被災地の保育園にお送りしたところ、とても喜んでいただきました。

こうした、ボランティアの皆さまのお声をさらに形にしたい!という思いから「Kifu - Rope」は誕生しました。想いをこめて作ってくださった作品を我々に託して(ご寄付=Kifu)いただき、被災地で必要とされる方にお届け(つなぐ=Rope)したいと思います。

また、被災地外においては販売の機会を設け、売上金を支援活動資金として活用させていただくことも企画しています。詳しくはホームページをご覧ください。 <https://cocorope.wordpress.com/>

「Kifu - Rope」の活動を通して、皆さまの想いと被災地を結ぶ懸け橋となれるよう頑張っています。一人でも多くの方にご参加いただけると大変嬉しく思います。皆さまからの心のこもった「ハンドメイド」をお待ちしております。

「Kifu - Rope」にご興味のある方はご連絡ください。TEL 0798-34-9011
ご案内を送付させていただきます。



KSN交流会

K S N
(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)

5月23日(日)、KSNの交流会を久しぶりに開催しました。今回は「春のクイズ王決定戦」というタイトルで、参加してくれた子どもたちにクイズ問題を中心にチャレンジしてもらいました。オンラインでの開催になってしまいましたが、子どもたちも参加した大学生もとても楽しめた様子でした。プログラムを企画してくれた関西学院大学社会学部関ゼミの皆さん、どうもありがとうございました。次回は8月23日(月)の予定です。

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

(2021年5～7月)

5月	8日	通常理事会 (西宮市)
	15日	NVNAD会計監査 (西宮市)
	16日	グローバルビレッジ防災訓練 (大阪府吹田市)
	17日	ニュースVol.126発行
	23日	KSNオンライン交流会 (西宮市&各地WEB)
6月	12日	NVNAD通常総会 (西宮市)
	15日	近畿ろうきん全体会議 (WEB)
	17日	共生学会会議 (WEB)
	20日	丹波篠山プロジェクト① (兵庫県丹波篠山市)
	23日	災害ボランティア養成講座 (大阪府豊能郡豊能町)
	25日	学生防災ネットワーク会議 (WEB)
7月	3日	子ども防災クラブ (西宮市)
	7日	近畿ろうきん講座 (西宮市)
	10日	災害ボランティア養成講座 (大阪府泉南郡田尻町)
	13日	宮っ子取材 (西宮市)
	19日	大阪トヨタOOS協定調印式 (大阪大学)
	20日	丹波篠山プロジェクト② (兵庫県丹波篠山市)
	26日	(一社) 地域情報共創センター総会 (WEB)
	30日	NVNAD「まちごと防災」webセミナー① (西宮市&各地WEB)
	31日	神戸&福島交流会 (兵庫県神戸市: オリンピア)



1週間に3～5回ほどのペースでWEB会議に参加しています。
大阪大学 (たすかんねん)、コープこうべ、すいすい吹田ほか多数。

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

8月	17日	ニュースVol.127発行
	19日	NVNAD「まちごと防災」webセミナー② (西宮市&各地WEB)
	21日	子ども防災クラブ (西宮市)
	22日	丹波篠山プロジェクト③ (兵庫県丹波篠山市)
	23日	クラウドファンディングスタート KSN交流会 (西宮市)
9月	2日	関学災害ボランティア講座① (西宮市)
	4日	災害ボランティア養成講座 (兵庫県丹波市)
	15日	関学災害ボランティア講座② (西宮市)
	17日	近畿ろうきん講座 (西宮市) NVNAD「まちごと防災」webセミナー③ (西宮市&各地WEB)
	25日	コープこうべ防災講座 (西宮市)
	未定	通常理事会 (西宮市)
10月	16日	第1回子ども防災クラブ (西宮市)
	30日	災害ボランティア養成講座 (大阪府泉南郡岬町)



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2021年5月1日～7月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」鶴田芳樹、太刀掛俊之、渥美直子、米山大吾

個人賛助会員：「新規」中村愛子

「継続」御船鋼、武田育子、長野理恵子、御内真理、谷孝大、今井曜子、石井保江
狩野宣敬、狩野順子、渡辺清武、平井芳明、森永壽、渥美杏奈、渥美樹里
中村三佐子

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

鶴田芳樹、古塚純枝、渥美久栄、鶴田美紀代、竹林順子、戸口京子
近畿ろうきん、ソフトバンクかざして募金、ヤフー株式会社

■募金者のみなさま 「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「災害支援金」園田学園女子大学

■ご協力いただいたみなさま 山添艶子、熊野尚子、大塚加奈、株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

カレンダー市につきまして

コロナ禍により今年は泣く泣く中止したカレンダー市ですが、来年はぜひ実行したいと考えております。しかしながら、例年開催している『西宮市役所東館8階大ホール』がワクチン接種の執務室となっているためお借りできず、会場探しから始めている状況です。

別会場が見つかり、新型コロナウイルスの感染拡大の収束がある程度読めましたら、ぜひとも開催したいと考えています。決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。ひとまず現状のご報告まで。

当団体は認定NPOですので、クラウドファンディングでいただいたご寄付につきましても税制優遇の対象となります。

来年1月中旬～下旬に寄附金受領証明書を送付させていただきます。



編集後記

いよいよ台風シーズンの到来ですね。今年は日本に上陸する台風の数も多くなりそうな予想で心配です。ワクチンの接種率は日に日に高くはなっていますが、海外の最新情報によると、ワクチンを2回接種したとしてもデルタ株など感染力の強いウイルスには感染する可能性があり、例え本人は重症化を抑えられたとしても、まわりの人に感染させてしまうリスクがあります。もし台風などで避難する場合にも、マスクの着用や手洗いなど感染対策を引き続き継続していくことがとても大切だと思います。(H.T)

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク** [NVNAD]

〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀